

平成18年7月21日  
海上保安庁

問い合わせ先  
海洋情報部航海情報課  
課長補佐 青木 秀正  
電話 03 - 3541 - 4510 (内線 435)

## わが国の海図が世界中で入手できます！

海上保安庁は、船舶が安全に航海できるよう、水深(海の深さ)、危険な岩礁、灯台、港湾施設などの情報を詳しく記載した海の地図「海図」を発行しています。

今回、海上保安庁が刊行している英文表記の海図が英国海洋情報部との協力により、英国の販売網を通じて世界各国(52カ国、139販売所)で販売されることになりました。まず初めに、東京湾の海図7図が7月21日に発行されます。

多くのユーザーは、英国海洋情報部が有する全世界に広がる販売網から、日本で刊行する最新維持された安全性の高い海図を入手することが容易になり、日本近海の航行安全に寄与することが期待されます。

### 7月発行の海図

番号	図名	縮尺
J P 6 6	KEIHIN KO YOKOHAMA	1:11,000
J P 6 7	KEIHIN KO KAWASAKI	1:11,000
J P 1 0 6 1	NORTHERN PART OF TOKYO WAN	1:50,000
J P 1 0 6 5	KEIHIN KO TOKYO	1:15,000
J P 1 0 8 6	MIDDLE PART OF CHIBA KO	1:15,000
J P 1 0 8 7	SOUTHERN PART OF CHIBA KO	1:15,000
J P 1 0 8 8	CHIBA KO KATSUNAN	1:15,000

日本国内価格 3,360円(税込み)

今後は、東京湾に続き、伊勢湾、大阪湾、関門海峡、瀬戸内海等が発行されます。

## 海図に関する日英両国の協力の背景

英国海洋情報部の海図は、英国国内ばかりでなく世界中の港をカバーしており、また、販売網も世界各国に広がっているため、世界的に最も流通しています。これまで、英国海洋情報部は日本の主要港湾及び周辺海域の海図を発行していましたが、海上保安庁が発行した海図を基にして作成しているため、海図の最新維持に3ヶ月ほどの遅れがあり、航海安全上好ましくありませんでした。

一方、海上保安庁では外国人船員の増加等により日本近海の英文表記による海図の必要性が増大したことから、平成16年1月から英文表記による海図を発行しています。

このようなことから両国海洋情報部において協議した結果、

日本が発行している英文表記の海図に日英両国の印章を付して、従来の海図販売網に加えて、英国の海図販売網からも販売する。

英国は、日本周辺海域の海図の発行を止める。

の2点について合意しました。

その合意内容を明記した協力枠組み文書の署名が、平成18年3月17日に、日英両国の海洋情報部長により行われました。

## 海図販売に関する日英協力のメリット

日本の最新の海図が全世界に広がる英国の販売網を通じて入手することができ、日本近海の航行安全に寄与することが期待されます。

## 刊行時期、対象海域

平成18年7月及び8月に東京湾海域の14図が英国の販売網を通じて販売されます。今後、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海などが平成19年12月までに順次販売される予定です。

### 【参考】

## 英国海洋情報部とは：

日本の海上保安庁海洋情報部と同じように、航海に必要な海図などを作成しているところです。

# 水路図誌の海外販売網

- 凡例
- ▲ 現在の海外販売店
  - 新たに追加される海外販売店

